

平成17年5月27日

新宿区長

法人名：NPO法人コミュニティファンド・まち未来
 所在地：東京都新宿区歌舞伎町2-19-13ASKビル602
 （フリガナ） ヒグチ ヨコ
 代表者氏名： 樋口蓉子

事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第19条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 助成対象事業

事業名	NPOやワーカーズコレクティブ等による市民活動および市民事業を担う人材の育成、研修の企画実施
実施日時又は期間	2005年2月26日、3月5日、3月12日 以上13:00~17:00 3月19日9:30~13:30、14:30~18:30 全5回
対象者の範囲及び人数	東京都内在住の市民事業経営者及び事業を始めようとしている市民10名
事業内容	人材育成事業アドバンスコースとして、市民事業を運営している市民に、運営能力を高めるための事業スキームのノウハウを提供する。
具体的な活動状況	第1回「社会事業におけるインベスター・リレーションズ」 第2回「経営課題を解決する」 第3回「マーケティング」 第4回「コミュニティビジネスの経営戦略」 第5回「リスクマネジメント」 各内容では講義に加え、受講生の事業をもとに実践的な作業を行なった。
事業の成果	企業経営者が使っているスキルを社会的ミッションを持ちながらどのように活用していくかということ、受講生の行なっている事業に応用できるような形で講座を展開した。 具体的成果についてはまだ分らないが各事業の経営戦略を作り直し、安定した運営ができるようになってのではないかとと思われる。

2 助成対象事業費内訳（実績）

内訳は、できるだけ「単価×数量」で示してください。

1万円以上のものについては、領収書（写し可）を添付してください。

収入	経費	積算根拠（内訳）		金額
	団体負担金			126,037 円
	参加費・資料代等	35,000×2名、30,000×2名、20,000×4名 15,000×1名、5,000円×1名 選択科目での参加の為、一律ではない。		230,000 円
	その他の収入			円
	協働推進基金助成金	助成金申請額 200,000 円		
	計	556,037 円		
支出 （助成の対象になる事業費の内訳）	費目	決算額	内訳	
	会議費	円		
	宣伝費	173,769 円	チラシの作成、印刷 5 万枚	
	リース費	円		
	消耗品費	7,530 円	筆記用具、模造紙	
	謝礼	350,000 円	講師料 4 万円×5 名、コース長 5 万円×1 名 コース開発費 10 万円×1 名	
	材料費	18,008 円	講座資料、打合せ等資料コピー代など	
	交通費	円	講師・コーディネーター交通費 は謝礼に含む	
	その他諸経費	6,730 円	振り込み料、郵便代金	
助成対象事業費（小計）		円		
余剰金		円		
助成対象外事業費		200,000 円	事務局人件費（概算）...申請時記入漏れ	
事業総額		756,037 円		

3 助成事業の成果と課題

評価のポイント	自己評価
事業を計画した当初に決めた課題について、どこまで達成できたか。	講座内容については、ほぼ満足のいく質のものができた。 しかし受講生の数を15名と想定したが、実際は10名となり、広報に課題を残した。
地域にどのような効果があったか、又は今後見込まれる効果は何か。	人数が少ないこともあり、受講生個々の事業内容にかなりつっこんだ講座となった。 そのため地域での事業展開が具体的に高まる事が予想される。
新たに気づいた課題は何か。	地域で草の根的に行なっている市民事業者を対象に講座を組んだため、土曜日開催では不適當だった。今後は対象に応じて曜日・時間帯を細かく設定する。
理解者や支援者が広がったか。	以前の受講生からの紹介が2つあり、受講生からの評価が高まっていることが感じられた。今後も地域での口コミが期待される。
事務局の執行体制は十分だったか。	講座内容・準備については問題がなかったが、広報全般については不十分だった。
今回の事業を発展させた新たな事業としてどのような事業が考えられるか。	今回は、実際に市民事業をしている方を対象に、総合講座と専門講座を組み合わせた形にしたが、専門講座については、別途短期で組み立てたい。
その他	講師は30代の市民事業に関心のある多様な専門家に依頼をした。講師陣が非常に熱心に社会貢献の一つとして考えてくれているため、受講生からの評価が非常に高いものになった。

4 活動の成果

* 事業の成果物(冊子など)又は、事業の開催時の写真など提出できるものがある場合は添付してください。

* 参加者の意見なども報告してください。

講座のカリキュラムと講師プロフィールについては別紙のとおり。

<以下受講生アンケート>

第1回

* 貸借や損益表をどう分析したらよいのかが、よくわかりました。なぜ、助成金申請に3年分の活動報告と収支決算を出すのかも納得。今度は事業拡大をしているときや、事業が案対してきたときの財務表にそのとき特徴が現れるのかどうかなども調べてみたいと思いました。

第2回

* “課題の背景にある本質的な原因を探る”という内容は、自分の弱点を知る上で、大変参考になりました。

第3回

* 実際に考えて作業をする、それもとても自分の役に立つ、すぐに使える分析方法だったと思います。他の受講生の方々のものも参考になり、とてもよかったです。

第4回

* 実践的な内容でした。すぐ役立てたいですが、簡単に見えてとても難しい内容であることもわかりました。他の人の例も、もっと詳しく参考にしてもらいたかったので、時間が足りない様にも思いました。

第5回

* とてもわかりやすいご説明でした。全部理解できたわけではありませんが、歯切れよく、要点をおさえたお話は見事でした。経営状況の分析や、労務管理のことは早速実行に移すべく、復習して、3人で相談してみたいと思います。

全体を通して

* 前回の一般基礎コースが、たとえば本の目次を説明して下さったものなら、今回のアドバンスコースは、その本の読み方について教えて下さったように受け取りました。これからは自分でその本を読み込んでいかななくてはならないので、これからがスタートという感じです。

* とてもうまく組み立てられていたと思います。選択科目と必須科目があったようですがどれも重要で、興味深い内容でした。事業を始める前に聞いたかったと思う反面、実際に様々な問題に日々直面しているからこそ、より興味を持って聞けたかなという気がします。秋の起業講座より、本当は需要が高い講座と思いますが、すでに事業はじめてところは、日々追われてその余裕も無いのが実態かなという思いもします。受けたことにより、次への元気が出てきます。講師の皆様、事務局の皆様有難うございました。